

# きたがわ荘便り

2・3月号

R3年3月発行  
特養きたがわ荘

## ようやく面会再開

福祉施設は、集団感染のリスクが高いことから外部との接触制限が一年あまり続いてきました。が、県内ではこのところ二十日以上感染者ゼロが続き、県も自粛も緩和されてきましたので、当施設では家族との面会を再開いたしました。入所者にとって家族との面会が唯一の喜びや楽しみでもあります。時折、面会に来た人が入所者に呼びかける声が聞こえ、ようやく普通の生活に戻りつつあることを実感しております。今後は変異種も心配ですが三密を守りつつ、ワクチンがいきなり完全終息を願うばかりです。

## 節分

今年の節分は二月二日となり、節分が二日になるのは、百二十四年ぶり、三十七年前は、二月四日だったそうです。

まったく記憶がありませんが...

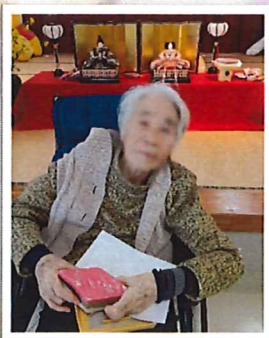
今年も、利用者さんの食べやすい物を用意し、「鬼は外、福は内」の掛け声で豆まきを行いました。写真は年男年女の方々です。

昼食は恵方巻が出ました。丸かじりはさすがに出来ませんが、皆さんおいしそうに食べておられました。



## ひな祭り

三月三日ひな祭り。今年も、ひなあられ・昼食はちらし寿司でした。男性女性問わず、皆で祝いました。



## 春分の日

外に目をやれば花々の色が目に入る季節になりました。気分的にも明るくなるようです。今年も「ぼたもち」が出ました。



## 全体会での研修

三月十二日全体会にて、『介護職員の医療外行為』『自力摂取の方の食具の選び方と見るポイント』『車いすでの食事摂取』の動画を視聴しました。コロナ感染予防の為、従来型の講師を招いての研修はなくなり、ネット配信のビデオでの研修となっています。



## 寄付

ご家族様より、香典返しとして金一封をいただきました。ありがとうございました。

- U・H様(九十歳)
- S・N様(百三歳)
- K・T様(九十五歳)

様 担当 より